

## JP096 八ヶ岳 (やつがたけ)

山梨県：北杜市

長野県：茅野市、佐久市、富士見町、原村、佐久穂町、南牧村、小海町、立科町

位置	N 36° 01′ E 138° 22′
面積	15,000ha

### 環境構成【森林】

八ヶ岳連峰は八ヶ岳中信高原国定公園の一部で南北およそ 50km、東西約 30km に及ぶ山岳高原地帯で山梨側は南八ヶ岳の赤岳(2,899m)を主峰とし、それに続く 6 つの険しい山岳と麓に広がる広大な高原地域である。山岳には高山性植物の他にアオモリトドマツやコメツガが自生し、山麓一帯にはアカマツ、ヤマツツジなどの豊かな植生に加えて多くの湧水があり、野生鳥獣の生息環境として良好である。

### 選定理由

A3	-
----	---

### 保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

都道府県指定鳥獣保護区（八ヶ岳）、国定公園（八ヶ岳中信高原国定公園）、自然環境保全地域、保護林

### 保全への脅威

- ・清里を中心としてリゾート開発がすすみ、野生の生息環境が狭まりつつある
- ・牧場の造成などによって天然林の消失が加速されている
- ・夏期の観光客が増加傾向にあり、自然度が低下してきている

### 保全活動

- ・環境教育活動：実施者（日本野鳥の会甲府支部）

内容：山梨県の協賛を得て、山麓に探鳥の拠点（飛沢溜池）づくりをした。ここを中心にして年 1～2 回の探鳥会を実施。

### 見られる鳥

高山性の種はイワヒバリ、カヤクグリ、ルリビタキ、ホシガラスなど僅かで、標高が下

るにつれてキクイタダキや、コガラ、ヒガラ、ヤマガラなどのカラ類が多くなる。清里周辺では、草原性のノビタキ、カワラヒワ、ビンズイやカッコウ科の鳥が見られる。

<b>留鳥</b>	ホオジロ、エナガ、カケス、ヤマガラ、フクロウ、オナガ、ヒヨドリ、キジ、トビ
<b>夏鳥</b>	オオルリ、ホトギス、カッコウ、ツツドリ、メボソムシクイ、コルリ、サンコウチョウ
<b>冬鳥</b>	カシラダカ、ジョウビタキ、ベニマシコ、ツグミ、シロハラ
<b>旅鳥</b>	エゾムシクイ
<b>迷鳥</b>	ウグイス、キセキレイ、キクイタダキ、ルリビタキ

#### 関連団体・自治体・施設等

- ・日本野鳥の会諏訪支部
- ・山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター

